

2012年6月26日

報道関係各位

## 主婦の節電と暑さ対策に関する調査

**家庭での節約「水道光熱費」がトップ**  
**“節約は楽しい” 20代主婦では4割**

**今夏の家での節電「積極的にしたい」37.7%**  
**今夏の節電対策「電力消費ピーク時間に電気製品の使用を控える」60.1%**  
**『料理による節電対策』も4割半ば**

**家庭の節電で対象としたい電気製品「エアコン」、「照明」**

**住宅用太陽光発電システムを『導入したい』48.7%**

**節電は“電気代の節約のため” 83.8%、“大規模停電を防ぐため”を大幅に上回る**  
**“電力不安は今年で最後にして欲しい” 67.0%、“本当に電力不足か疑問” 54.0%**  
**“節電による家族の体調不良が心配” 51.8%**

**今年の夏までに欲しい涼活グッズ 1位「冷却・冷感マット」**  
**暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだ 1位「そうめん」、夏野菜も半数以上**

パルシステム生活協同組合連合会 (<http://www.pal.or.jp>) (本社: 東京都新宿区、理事長: 山本 伸司) は、「主婦の節電と暑さ対策に関する調査」をモバイルリサーチ(携帯電話によるインターネットリサーチ)により、2012年6月5日～6月11日の7日間において実施し、1,000名(調査対象者: 20歳～59歳の既婚女性)の有効サンプルを集計いたしました。(調査協力機関: ネットエイジア株式会社)

## 調査結果

- ◆ **家庭での節約「水道光熱費」がトップ**
- ◆ **“節約は楽しい” 20代主婦では4割**

はじめに、家庭で行なっている節約や節約に関する意識について聞きました。

20歳～59歳の既婚女性(全回答者 1,000名)に対し、家庭で節約を行っているものを聞いたところ、全体では「水道光熱費」が 69.6%で最も高くなり、次いで「外食」53.0%、「食品・飲料(お酒を除く)」52.0%、「衣類・ファッション」44.3%、「自分の小遣い」40.1%が続きました。

年代別にみると、20代主婦では「食品・飲料(お酒を除く)」65.6%、「衣類・ファッション」52.4%、「自分の小遣い」51.2%、「化粧品・美容用品」47.6%で他の年代の主婦よりも10ポイント前後高くなり、他の年代の主婦よりも節約を頑張っている様子が窺えました。他方、40代主婦と50代主婦では「レジャー・交際費」(40代主婦 37.2%、50代主婦 36.4%)が、20代主婦、30代主婦に比べて10ポイント近く高くなりました。

そして、節約に関する意識について聞いたところ、家庭で節約をしている953名が『あてはまる』(「非常にあては

まる」と「ややあてはまる」の合計、以下同様)とした割合は、【節約はつかれる】では 45.8%、【節約の効果は感じられない】では 28.4%となり、家庭で節約をしている回答者の 4 割半ばは節約に疲れを感じ、3 割弱は節約の効果が実感できていないことがわかりました。

しかし、【節約は楽しい】では、『あてはまる』との割合は 29.2%と、家庭で節約をしている回答者の約 3 割は節約を楽しんでいることもわかりました。これを年代別にみると、20 代主婦では 40.6%と 4 割で他の年代の主婦よりも高くなり、30 代主婦は 31.8%、40 代主婦 21.1%、50 代主婦 23.6%となりました。また、『あてはまらない』(「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」の合計)との割合は 20 代主婦 19.2%、30 代主婦 27.5%、40 代主婦 36.3%、50 代主婦 32.8%となり、20 代主婦、30 代主婦では楽しいと感じている割合のほうが高く、40 代主婦、50 代主婦では楽しく感じていない割合のほうが高くなりました。

家庭で節約をしている回答者の 4 割半ばが疲れを感じる一方で、約 3 割は楽しんでいる節約ですが、【節約を今後も行っていきたい】では、『あてはまる』との割合は 90.7%と 9 割となりました。

これを年代別にみると、20 代主婦 94.6%、30 代主婦 94.0%、40 代主婦 86.9%、50 代主婦 87.1%となりました。節約を楽しんでいる割合が感じていない割合よりも高かった 20 代主婦、30 代主婦では節約を今後も行っていきたいとする割合は 9 割を超えており、節約を楽しむことがモチベーション維持につながっている様子が窺えました。

◆ **今夏の家庭での節電「積極的にしたい」37.7%**

◆ **昨年夏の節電のための外出先 商業施設に続いたのは「図書館」33.6%**

◆ **今夏の節電対策「電力消費ピーク時間に電気製品の使用を控える」60.1%**

**『料理による節電対策』も 4 割半ば**

次に、昨年と今年の夏の節電について聞きました。

全回答者(1,000 名)に対し、昨年の夏に家庭で節電を行ったか聞いたところ、「積極的にした」33.8%、「少しはした」60.2%となり、それらを合わせた 94.0%が昨年の夏に節電を行い、「しなかった」は 6.0%でした。

また、今年の夏に家庭で節電を行いたいか聞いたところ、「積極的にしたい」37.7%、「少しはしたい」59.2%となり、それらを合わせた 96.9%は今年の夏に節電を行いたいと思っており、「したくない」は 3.1%でした。

それでは、昨年の夏は家庭でどのような節電を行い、今年の夏は家庭でどのような節電を行いたいと主婦は考えているのでしょうか。

昨年の夏に家庭で行った節電対策(対象:昨年の夏に家庭で節電を行った 940 名)をみると、「窓を開け、自然の風を取り入れる」68.7%が最も高く、次いで、「使用していない電気製品のコンセントを抜く」64.9%、「電気製品の使い方を工夫する」58.3%、「冷却・冷感グッズを使う」46.5%、「電力消費ピーク時間に電気製品の使用を控える」46.3%が続きました。

また、昨年の夏の節電で「極力外出する」と回答した 134 名に対し、どのような場所に行ったか聞いたところ、「ショッピングセンター/ショッピングモール」82.8%、「スーパー」76.1%、「デパート」42.5%と商業施設が上位 3 項目に並びました。それに続いたのは、お金をかけず、静かに暑さをしのげる「図書館」で 33.6%、さらに「自分や夫の実家」26.9%、「友達の家」20.9%が続きました。

そして、今年の夏に家庭で行いたい節電対策(対象:今年の夏に家庭で節電を行いたい 969 名)をみると、「窓を開け、自然の風を取り入れる」72.4%が最も高く、次いで、「電気製品の使い方を工夫する」71.8%、「使用していない電気製品のコンセントを抜く」68.9%、「電力消費ピーク時間に電気製品の使用を控える」60.1%、「うちわ・せんすを使う」53.5%、「冷却・冷感グッズを使う」47.9%が続きました。また、「体温を下げる食材を料理に使う」や「見た目が涼し

気な料理を食べる」、「発汗作用のある料理を食べる」といった『料理による節電対策』を行いたいと回答した割合は 46.5%と 4 割半ばになり、「涼しいファッションを取り入れる」や「涼しい髪型にする」といった『ファッションによる節電対策』を行いたいと回答した割合は 49.8%と約半数になりました。

昨年の夏に家庭で節電を行い、今年の夏も家庭で節電を行いたいと回答した 934 名について、昨年夏に家庭で行った節電対策と今年の夏に家庭で行いたい節電対策の内容を比較すると、「電気製品の使い方を工夫する」(昨夏の実施 58.5%に対し今夏の意向は 72.5%)、「電力消費ピーク時間に電気製品の使用を控える」(昨夏の実施 46.4%、今夏の意向 60.4%)ではどちらも 14.0 ポイント今夏の意向のほうが高く、「うちわ・せんすを使う」(昨夏の実施 43.0%、今夏の意向 54.5%)では今夏の意向のほうが 11.5 ポイント高くなりました。また、「体温を下げる食材を料理に使う」(昨夏の実施 10.4%、今夏の意向 19.5%)では今夏の意向のほうが 10 ポイント近く高くなっており、電気製品の使い方や使用時間を工夫する家庭、節電として食材を工夫する家庭が、今年の夏は昨年の夏より増えそうです。

#### ◆ 家庭の節電で対象としたい電気製品「エアコン」、「照明」

昨年夏に家庭で行った節電や今年の夏に家庭で行いたい節電では、電気製品の使い方や使う時間を工夫すること、使っていない電気製品のコンセントを抜くといった電気製品の使用に関する項目が上位となりました。

それでは、どのような電気製品が節電の対象となっているのでしょうか。

昨年の夏に家庭で行った節電で対象とした電気製品や今年の夏に家庭での節電で対象としたい電気製品を聞いたところ、昨年の夏に家庭での節電で対象とした電気製品(対象:昨年の夏に家庭で節電を行った 940 名)では「エアコン」74.1%と「照明」70.3%が際立って高く、今年の夏に家庭での節電で対象としたい電気製品(対象:今年の夏に家庭で節電を行いたい 969 名)でも「照明」74.6%、「エアコン」74.1%が 7 割を超えました。昨年夏に続き今年の夏も「エアコン」「照明」の二つが、まずは節電の対象となりそうです。そして、「エアコン」「照明」に続いたのは、昨年夏も今年の夏も同じ電気製品で、「テレビ」(昨夏 52.0%、今夏 60.8%)、「保温便座」(昨夏 47.7%、今夏 46.3%)、「扇風機/サーキュレーター」(昨夏 37.7%、今夏 38.0%)が続きました。

#### ◆ 住宅用太陽光発電システム『導入したい』48.7%

#### ◆ 住宅用太陽光発電システムの導入動機はエコロジーよりエコノミー

来月(7月)からは再生可能エネルギーの固定価格買取制度が始まり、買取価格も決定しました。

そこで、全回答者(1,000 名)に対し、住宅用太陽光発電システムを導入したいかどうか聞いたところ、「既に導入している」は 5.3%、『導入したい』(「経済的メリットを考えて導入したい」と「環境のことを考えて導入したい」の合計)は 48.7%となり、「導入したいと思わない」は 46.0%で、住宅用太陽光発電システムを導入したいと思っている人が半数近くとなりました。『導入したい』との割合を詳しくみると、「経済的メリットを考えて導入したい」が 35.3%、「環境のことを考えて導入したい」が 13.4%となっており、経済的メリットが動機となっている割合のほうが高くなりました。

#### ◆ 節電は“電気代の節約のため” 83.8%、“大規模停電を防ぐため”を大幅に上回る

#### ◆ “電力不安は今年で最後にして欲しい” 67.0%、“本当に電力不足か疑問” 54.0%

#### ◆ “節電による家族の体調不良が心配” 51.8%

全回答者(1,000 名)に対し、節電に関する意識について聞きました。

各項目について『あてはまる』（「非常にあてはまる」と「ややあてはまる」の合計）と回答した割合をみると、最も高くなったのは【電気代の節約のための節電である】で 83.8%となり、【大規模停電を防ぐための節電である】の 54.6%を大幅に上回る結果となりました。

2 番目に高かったのは【電力不安は今年で最後にして欲しい】で 67.0%と 7 割弱が『あてはまる』と回答しましたが、原子力発電についてはどのように思っているのでしょうか。【節電を強いられるくらいなら、原子力発電所を稼働して欲しい】では 18.2%と 2 割弱にとどまり、『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」の合計）の 44.6%を大きく下回る結果となりました。そして、【本当に電力が不足するのか疑問を感じる】は 54.0%と、原発再稼働の理由にもなっている電力不足に対して疑問を持っている回答者が半数以上となりました。

また、家庭内の電力消費量を“見える化”するサービスが開始していますが、【自分の節電がどれくらい役に立ったのか知りたい】で 58.7%と 6 割弱となりました。

そして、【節電による家族の体調不良が心配である】は 51.8%と、半数以上の回答者が節電による家族の体調不良を心配している結果となりました。

#### ◆ 今年の夏までに欲しい涼活グッズ 1 位「冷却・冷感マット」

#### ◆ 暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだ 1 位「そうめん」、夏野菜も半数以上

#### 「冷やしたお菓子」は 2 割弱、「冷やし茶漬け」は 1 割

今年の夏も節電によりこれまでの夏よりも暑さを感じるシーンが多くなるのではないのでしょうか。

そこで、全回答者(1,000 名)に対し、今年の夏までに欲しい涼活グッズ(涼しく快適に過ごすためのグッズ)を聞いたところ、「冷却・冷感マット」45.0%が最も高く、「冷却枕」39.5%、「ネッククーラー(首に巻く冷却グッズ)」34.8%、「冷却・冷感タオル」30.4%が続き、冷却・冷感グッズが上位となり、「すだれ・よしず」29.3%、「うちわ・水うちわ」23.5%といった昔ながらのグッズがそれに続きました。

また、暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだと感じた食べ物や飲み物を聞いたところ、「そうめん」82.6%が最も高く、次いで、「かき氷」79.5%、「スイカ」74.8%が 7 割台で続きました。体を冷やす効果のある夏野菜では「きゅうり」が 52.4%、「トマト」が 52.3%となり、回答者の半数以上が夏野菜で暑さがやわらいだと感じた経験があるようです。

また、最近は冷やして食べるお菓子や温かいものを冷やして食べるといったことにも注目が集まっていますが、「冷やしたお菓子」は 17.0%、「冷やし茶漬け」は 9.9%となりました。

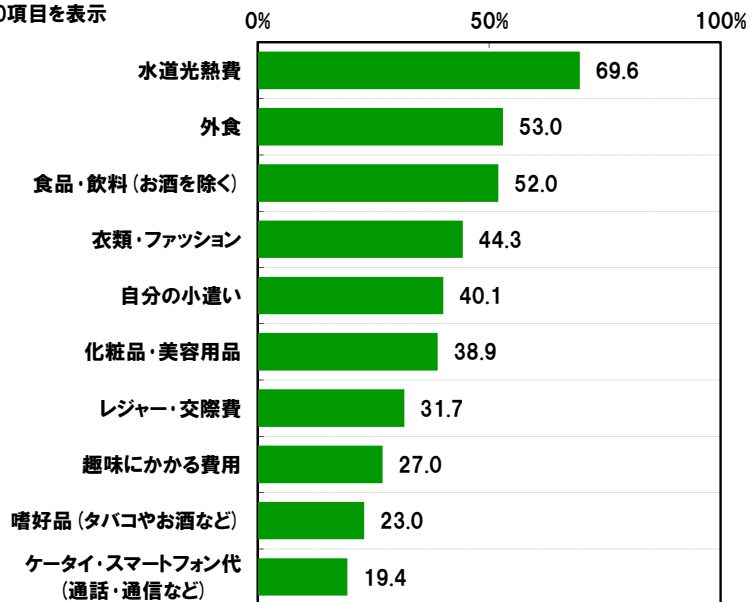
今回の調査結果からは主婦が取り組んでいる節電は多岐にわたることがわかりました。しかし、その一方で、過度の節電では熱中症などの健康被害も考えられ、節電により家族の体調が崩れることを心配する割合は半数以上となりました。

無理なく快適な節電ライフとするために、涼活グッズや暑さがやわらぐと感じられる食べ物・飲み物を上手に取り入れてみてはいかがでしょうか。

◆家庭で節約を行っているもの  
 (複数回答形式)

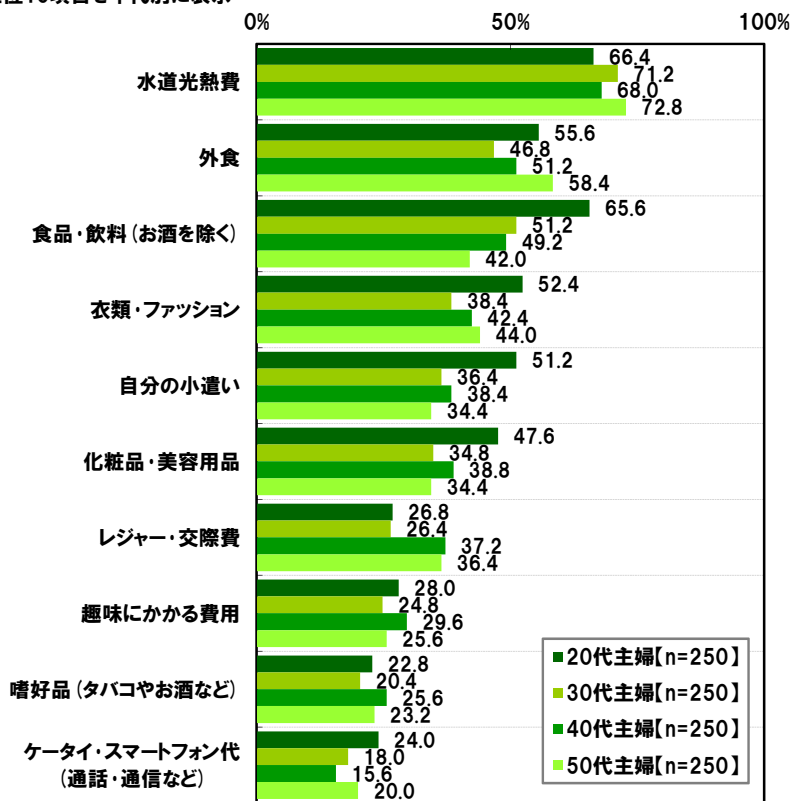
全体【n=1,000】

※上位10項目を表示



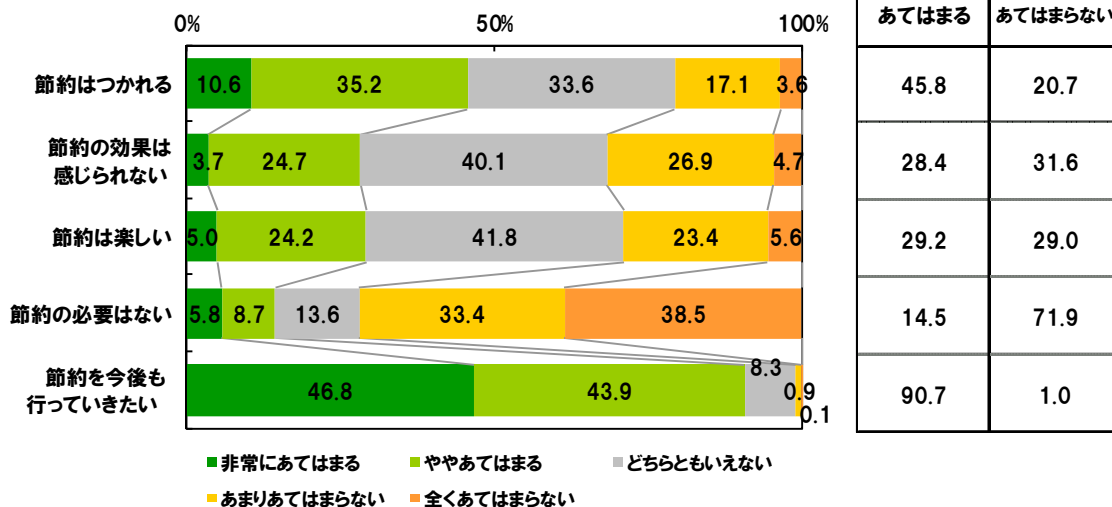
◆家庭で節約を行っているもの  
(複数回答形式)

※上位10項目を年代別に表示

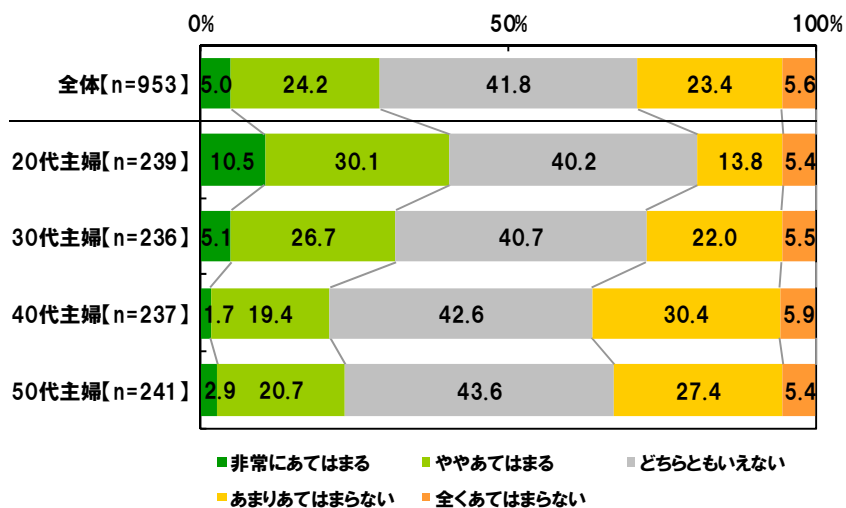


◆節約に関する意識  
(単一回答形式)

※集計対象:家庭で節約をしている人  
全体[n=953]

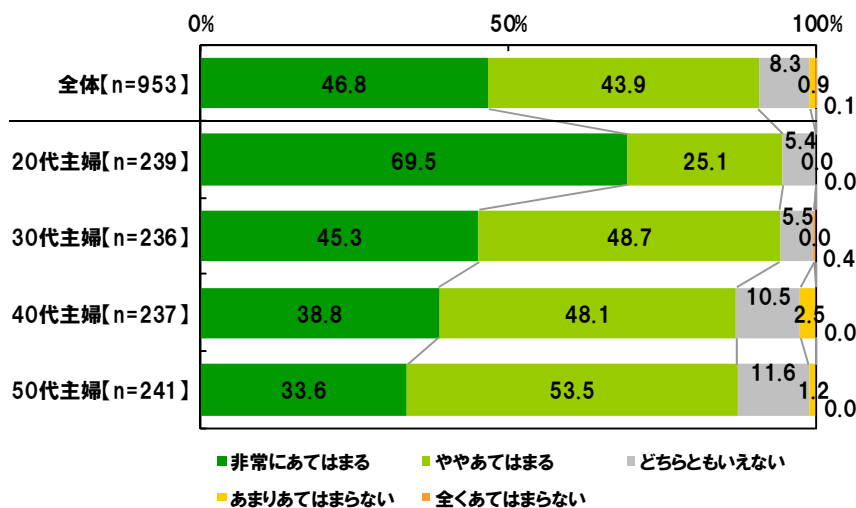


◆節約に関する意識【節約は楽しい】  
 (単一回答形式)  
 ※集計対象:家庭で節約をしている人



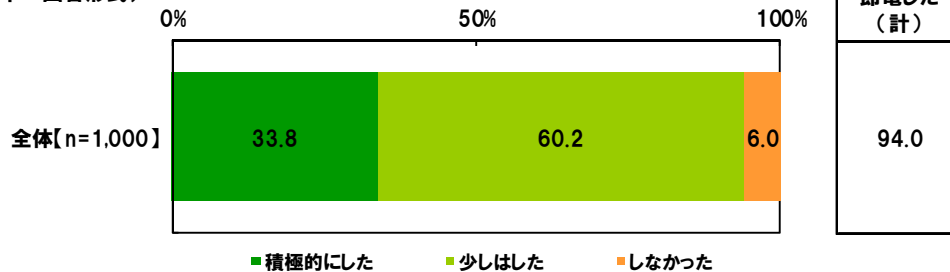
	あてはまる	あてはまらない
全体	29.2	29.0
20代主婦	40.6	19.2
30代主婦	31.8	27.5
40代主婦	21.1	36.3
50代主婦	23.6	32.8

◆節約に関する意識【節約を今後も行っていきたい】  
 (単一回答形式)  
 ※集計対象:家庭で節約をしている人

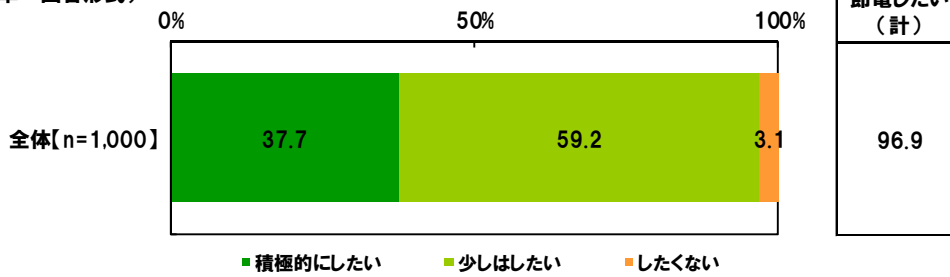


	あてはまる	あてはまらない
全体	90.7	1.0
20代主婦	94.6	-
30代主婦	94.0	0.4
40代主婦	86.9	2.5
50代主婦	87.1	1.2

◆昨年の夏に家庭で節電を行ったか  
(単一回答形式)



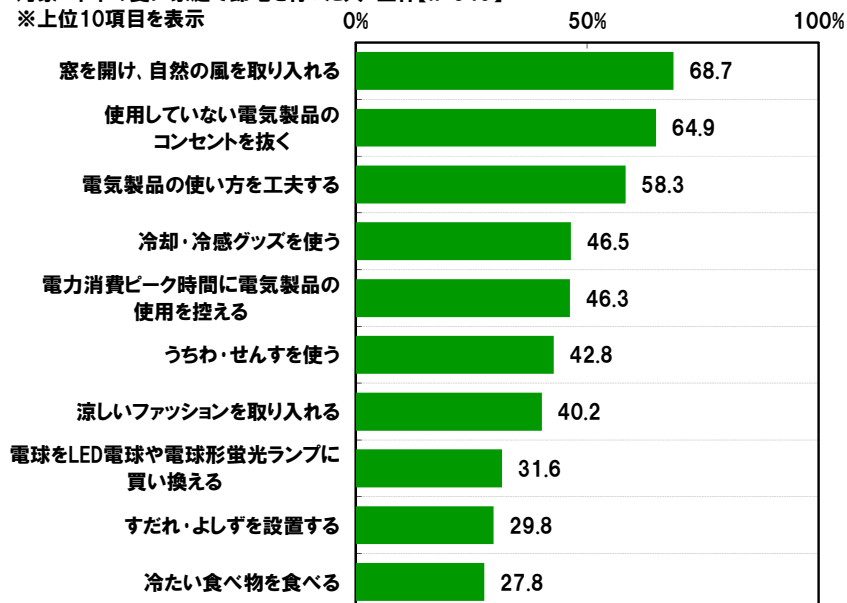
◆今年の夏に家庭で節電を行いたい  
(単一回答形式)



◆昨年の夏に家庭で行った節電対策  
(複数回答形式)

対象: 昨年の夏に家庭で節電を行った人 全体[n=940]

※上位10項目を表示

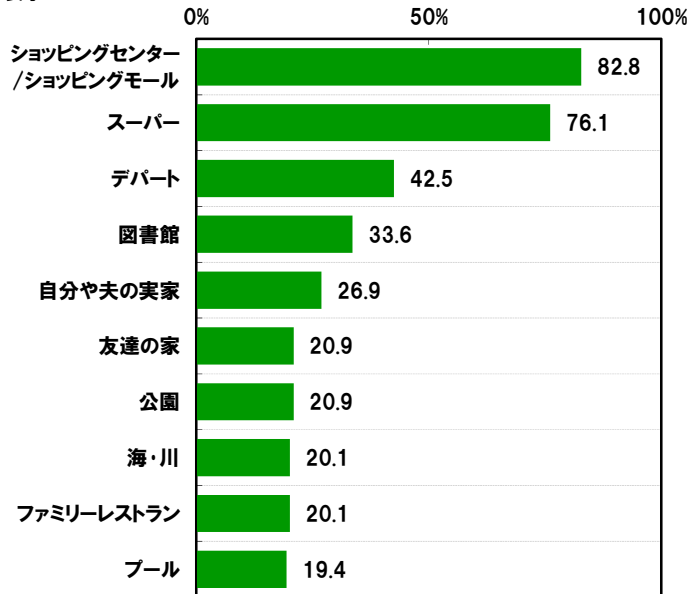




◆昨年の夏の節電対策でどのような場所に行ったか  
(複数回答形式)

対象: 昨年の夏の節電対策で「極力外出する」と回答した人 全体[n=134]

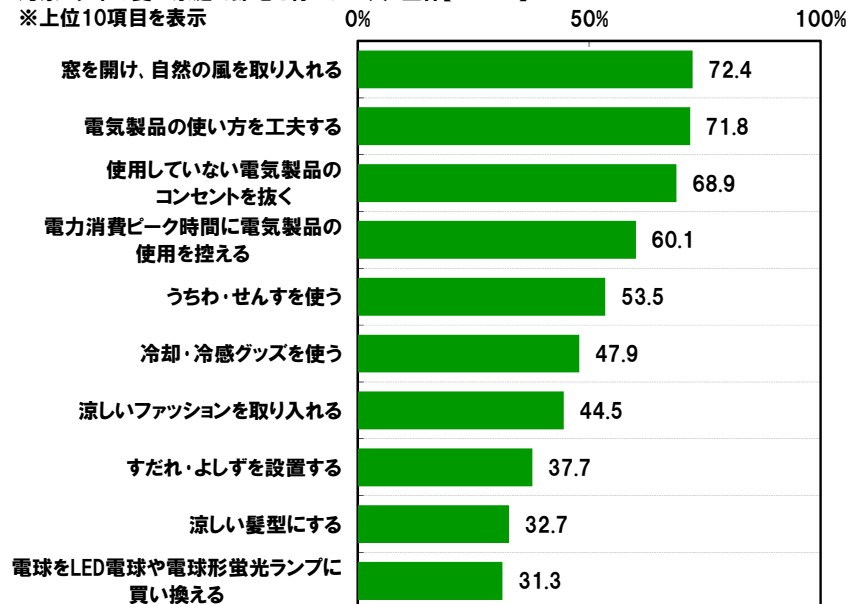
※上位10項目を表示



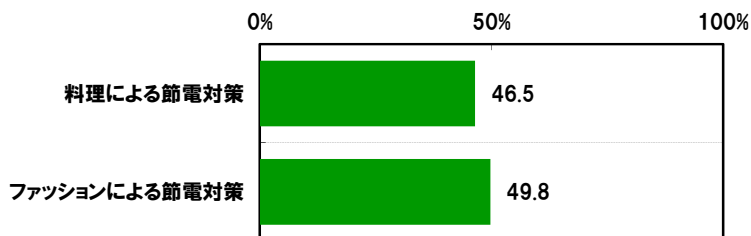
◆今年の夏に家庭で行いたい節電対策  
(複数回答形式)

対象: 今年の夏に家庭で節電を行いたい人 全体[n=969]

※上位10項目を表示



◆今年の夏に家庭で行いたい節電対策  
『料理による節電対策』と『ファッションによる節電対策』の割合  
対象：今年の夏に家庭で節電を行いたい人 全体[n=969]



料理による節電対策

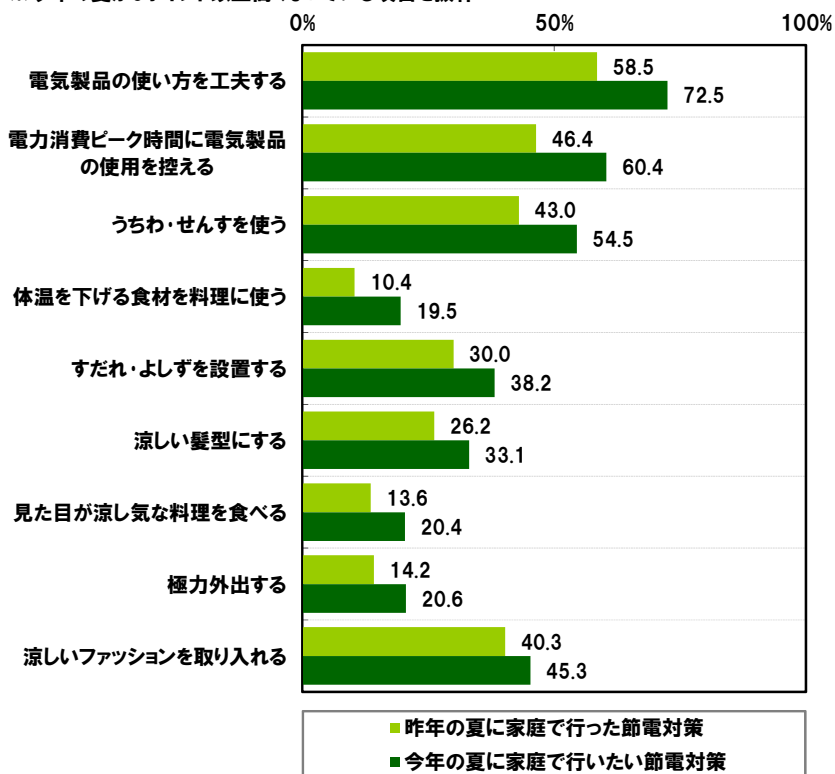
「冷たい食べ物を食べる」「見た目涼し気な料理を食べる」「体温を下げる食材を料理に使う」  
「料理の時に火を使わないようする」「発汗作用のある料理を食べる」「熱いものに水を入れて食べる」  
のいずれか1つでも選択した割合。

ファッションによる節電対策

「涼しいファッションを取り入れる」「涼しい髪型にする」  
のいずれか1つでも選択した割合。

◆【比較】昨夏の家庭で行った節電対策と今夏に家庭で行いたい節電対策

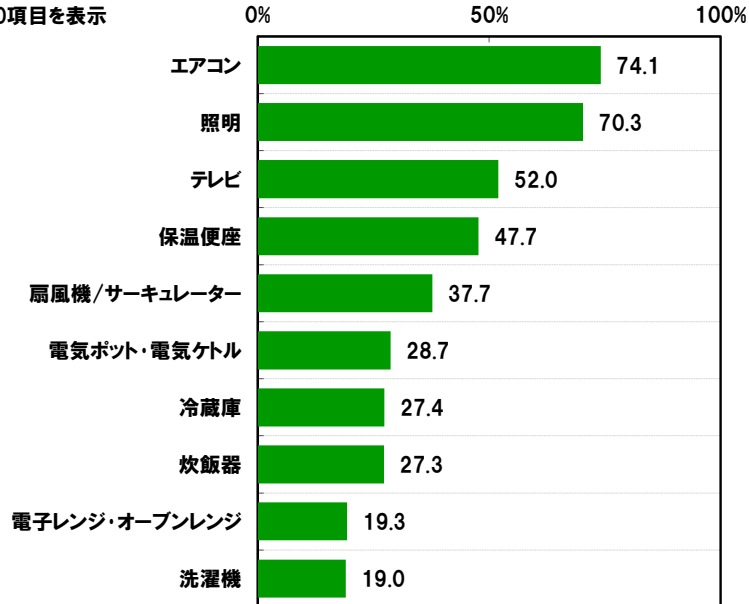
集計対象：昨年の夏に家庭で節電を行い、今年の夏も家庭で節電を行いたいと回答した人 全体[n=934]  
※今年の夏が5ポイント以上高くなっている項目を抜粋



◆昨年の夏に家庭での節電で対象とした電気製品  
(複数回答形式)

対象: 昨年の夏に家庭で節電を行った人 全体[n=940]

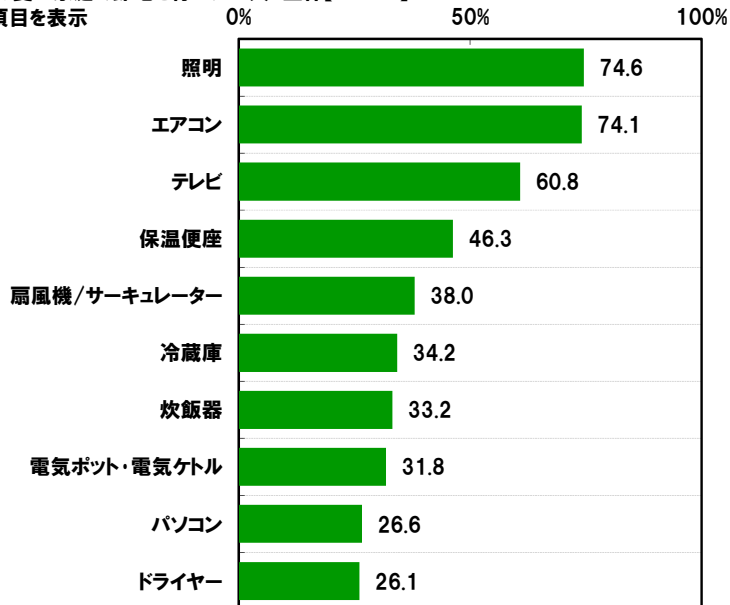
※上位10項目を表示



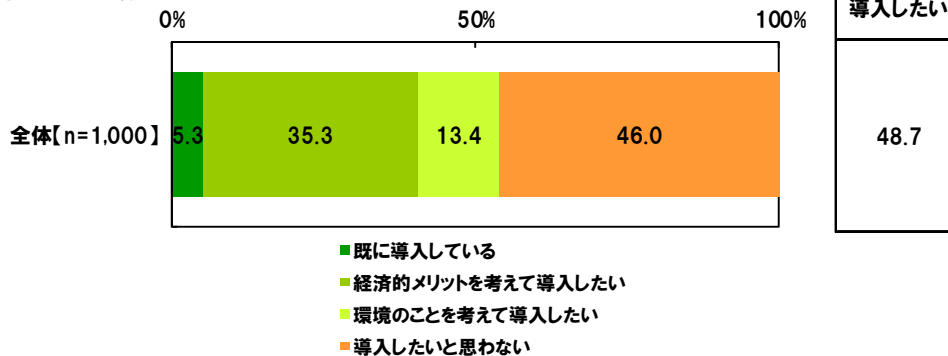
◆今年の夏に家庭での節電で対象としたい電気製品  
(複数回答形式)

対象: 今年の夏に家庭で節電を行いたい人 全体[n=969]

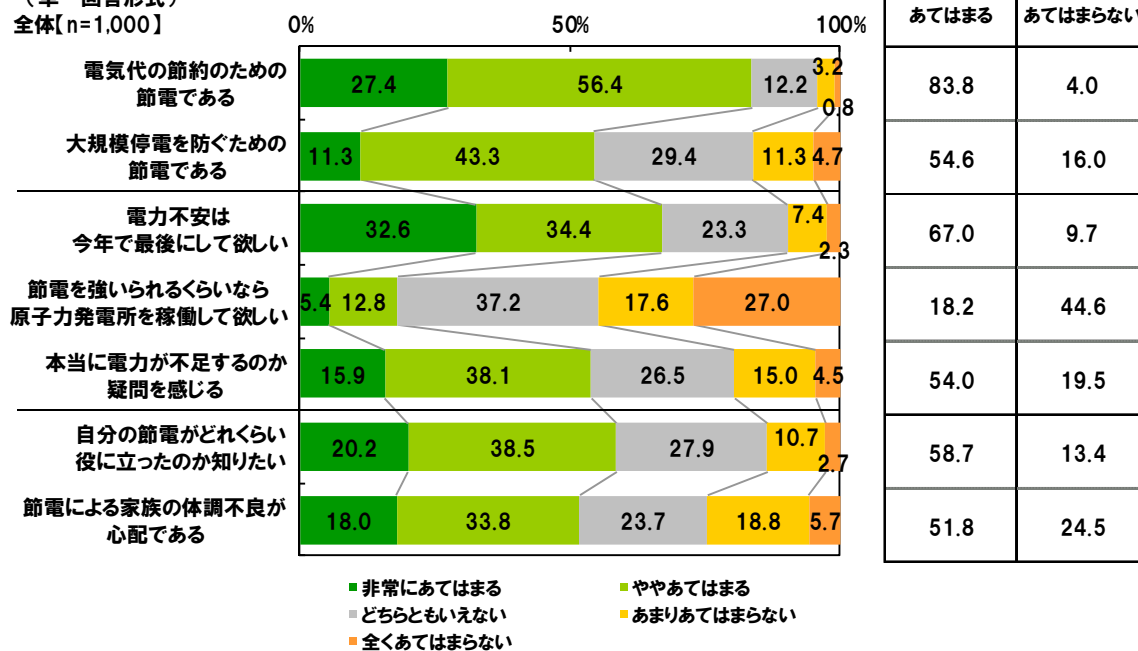
※上位10項目を表示



◆住宅用太陽光発電システムを導入したいかどうか  
(単一回答形式)



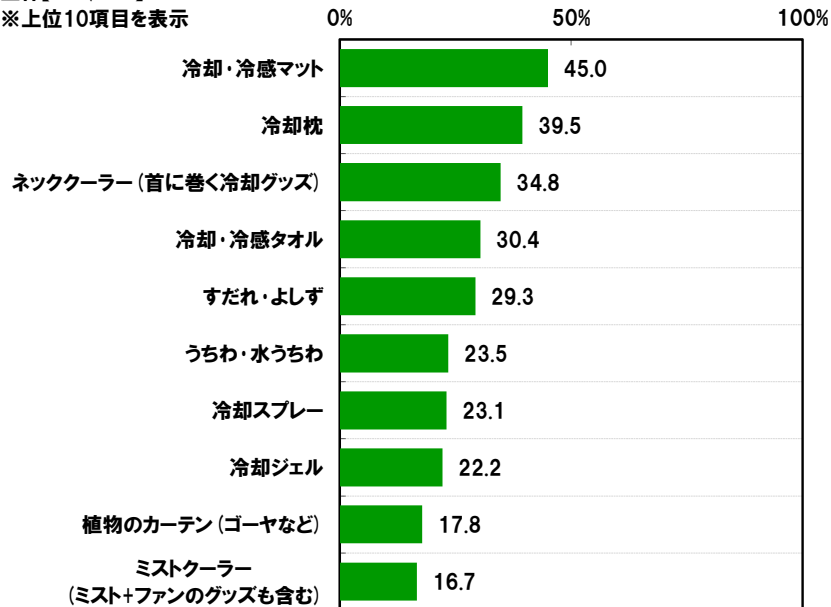
◆節電に関する意識  
(単一回答形式)  
全体[n=1,000]



◆今年の夏までに欲しい涼活グッズ  
(複数回答形式)

全体【n=1,000】

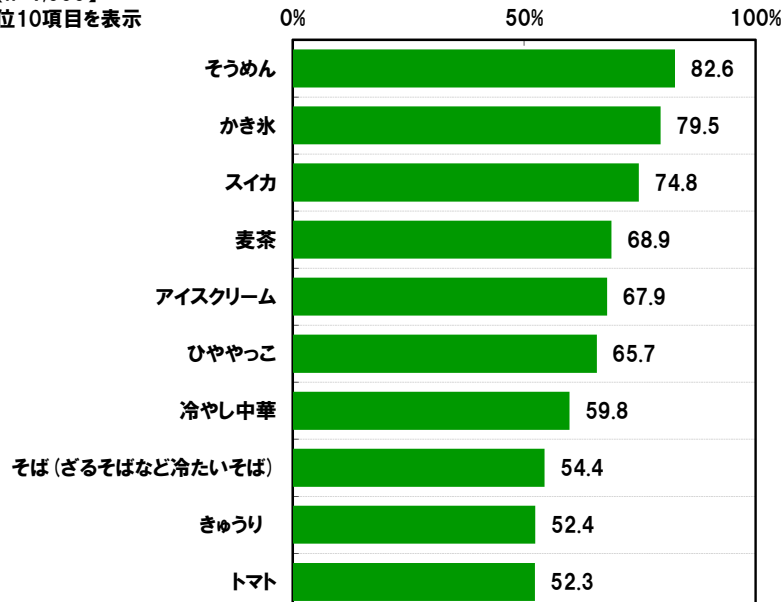
※上位10項目を表示



◆暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだと感じた食べ物や飲み物  
(複数回答形式)

全体【n=1,000】

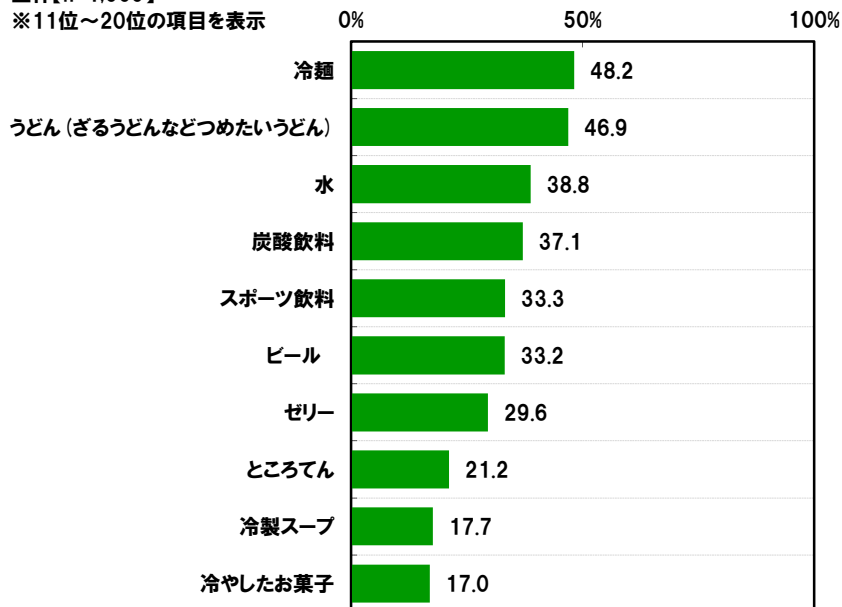
※上位10項目を表示



◆暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだと感じた食べ物や飲み物  
(複数回答形式)

全体【n=1,000】

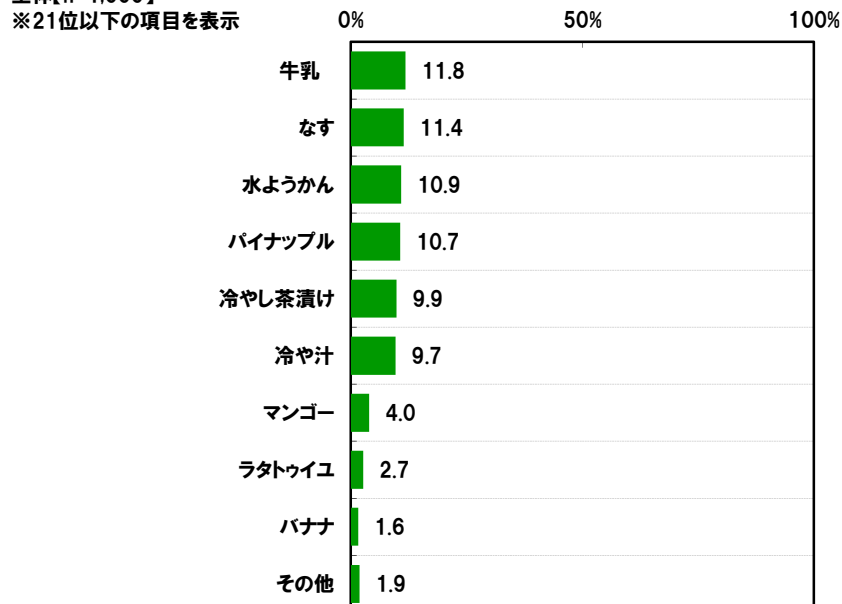
※11位～20位の項目を表示



◆暑い日に食べて、実際に暑さがやわらいだと感じた食べ物や飲み物  
(複数回答形式)

全体【n=1,000】

※21位以下の項目を表示



◆調査概要◆

- ◆調査タイトル：主婦の節電と暑さ対策に関する調査
  - ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのモバイルモニター会員を母集団とする  
20歳～59歳の既婚女性
  - ◆調査期間：2012年6月5日～2012年6月11日の7日間
  - ◆調査方法：インターネット調査（モバイルリサーチ）
  - ◆調査地域：全国
  - ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答母数から1,000サンプルを抽出）  
（20代：250サンプル/30代：250サンプル/40代：250サンプル/50代：250サンプル）
  - ◆実施機関：ネットエイジア株式会社
- 調査協力会社：ネットエイジア株式会社（担当：吉田）

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「パルシステム生活協同組合連合会調べ」と付記のうえ  
ご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

パルシステム生活協同組合連合会 広報部 担当：大野、石原  
TEL : 03-6233-7241  
Eメール : pal-kouhou@pal.or.jp  
受付時間 : 10時00分～17時30分（月～金）

■■パルシステム生活協同組合連合会 概要■■

組織名 : パルシステム生活協同組合連合会  
代表者名 : 理事長 山本 伸司  
設立 : 1990年2月  
所在地 : 東京都新宿区大久保2丁目2-6 ラクアス東新宿  
業務内容 : 会員生協の委託を受けた、商品・システム・基幹物流